

長年親しまれてきた現行のオシドリ観察小屋が3月末で閉鎖されるのに伴い、3月29日、観察小屋駐車場でセレモニーが開かれました。

オシドリ観察小屋は、平成6年にオシドリグループ（森田勝彦代表）が日野川河川敷に設置。県内外から多くの人を訪れる人気の観光スポットとして愛されてきましたが、グループ会員の高齢化や、小屋の浸水被害の頻発などで運営を続けていくことが困難に。令和4年度からは、日野高校のグラウンド隅に小屋を新築・移転し、町営化されます。

セレモニーでは、長年運営を行ってきた同グループの会員全員に、埴田町長から感謝状が贈られました。代表の森田さんは、「長年の苦勞が報われた。盛大なセレモニーを開いてもらってありがたく思っている」と、感謝の言葉を述べました。



長年活動してきたオシドリグループの皆さん



感謝状を手にする森田さん（右）と埴田町長（左）

長い間、ありがとう。未来へつないで。

オシドリ観察小屋再建に向けた記念セレモニー



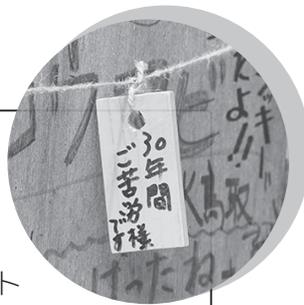
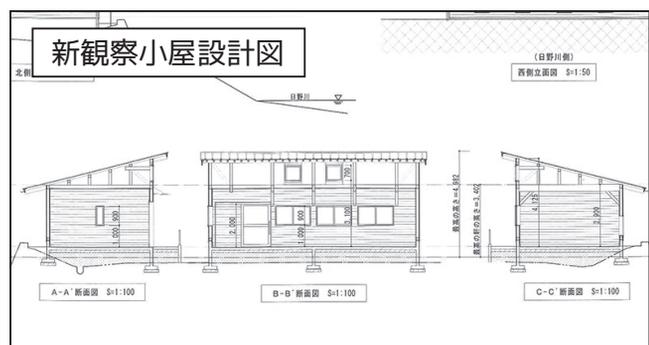
▲多くの人に愛されてきた観察小屋

新しいオシドリ観察小屋は、4月から解体や舗装工事が始まり、10月末に完成予定です。今後は、入館を有料化し、町による管理・運営を行います。また、当面の間オシドリグループも、観光客のガイドなどを行う予定です。森田さんは、「新たな交流の拠点として、期待を裏切らないよう、体制を整えていきたい」と、意気込みを語りました。

新オシドリ観察小屋は今秋、新築・移転予定

新・オシドリ観察小屋 完成予想図

新しい観察小屋は、日野高校の敷地内・グラウンド隅に設置予定です。現在の駐車場から新・観察小屋までのルートは、安全に歩けるようコンクリート舗装を行います。観察小屋までのアクセスルートは、現在の駐車場からだけでなく、今後は金持テラスひのからのルートも整備予定です。





会場に響き渡る吹奏楽の音色

日野中学校吹奏楽部が、地域の人や保護者への日ごろの感謝の気持ちを込め、3月19日、町文化センターで、「桜薫るコンサート」を開きました。

このコンサートは、卒業を迎えた3年生と部員らとの最後のステージとして毎年行われています。

多くの町民や保護者が見守る中、第一部と第二部で計9曲を披露し、会場を大いに沸かせました。

最後に、卒業する3年生6人は、3年間の思い出などを語り、家族や地域の人への感謝の気持ちを表していました。

感謝の気持ちを込めた音色が響く
日野中学校吹奏楽部「桜薫るコンサート」



寄付金を手にする埜田町長（左）と河上取締役（右）

3月30日、中海テレビ放送（加藤典裕代表取締役社長）が、オシドリ観察小屋の再建のため、100万円を町に寄付しました。

町役場で行われた贈呈式では、河上東取締役が、埜田町長に寄付金を手渡しました。

「町の財産でもあるオシドリ。まちおこしとしても大切な観察小屋のために、少しでも力になれば」と河上取締役。埜田町長も「観察しやすく、工夫された観察小屋にするため、ぜひ活用していきたい」と、感謝の気持ちを伝えていました。

魅力的な観察小屋再建に向け役立てて
中海テレビ放送がオシドリ観察小屋再建のため寄付

思いがこもったすがすがしいボールペンを変えて
小学校のいすから作られたボールペンを寄贈



ボールペンを手にする埜田町長と木下さん（右）

3月4日、福長地区に工房を構える樹乃下文具の木下哲郎さんが、町役場と黒坂小学校を訪れ、小学校のいすを材料に作られたボールペンを寄贈しました。

このボールペンは、黒坂小学校で使われなくなった木製のいすを再利用して作られました。

「形を変え、長く愛されるものが出来たと思う。心を込めてつくったので、ぜひ使ってもらいたい」と木下さん。なお、今回寄贈されたボールペンは、金持テラスひのでも販売されています。

ふるさとのことば
～日野弁なんずかんず～ 第104回

身近な山菜の名前、その由来は

日野町の春といえば、へ咲いて嬉しや桜にツツジ、だけでなく、彩り豊かでおいしい山菜が採れること、ですよ！

ワラビにゼンマイ、ゴゴミなど、古くから親しまれている山菜の名前ですが、考えてみると不思議な名前。というところで、その由来を調べてみました！

ワラビは、その姿が焼いたワラに似ていることから、「藁火」が転じてワラビとなったと言われています。

ゼンマイは、渦巻き状の

若芽の姿がちょうど銭の大きさであることから「銭巻」と呼ばれ、それがゼンマイに変化したという説が一般的です。

そのゼンマイに姿が似ているゴゴミですが、こちらは、同じく渦巻き状の若芽が、人が屈む（こごむ）様子に見えることからそう呼ばれるようになったとされています。

そんな、古の人たちの豊かな想像力に思いを馳せながら、今年も山菜をおいしくいただきますよ！

協力：日野町歴史民俗資料館友の会